

「ふるさと交流村」・ハコモノよりも 「住宅リフォーム補助」創設を

一石三鳥の効果

「家をちよつと修理するにも、ためらうわ」。こんな声も良く耳にします。住宅リフォーム補助制度は実施した自治体で、抽選をしなければならぬほど申込が殺到。地元経済効果も抜群です。3月議会の一般質問(3月6日)で、この制度の創設を提案しました。その要旨を紹介します。

家計・経営応援、内需拡大

西澤

町内中小建設業者の保護、育成と家計応援の一石二鳥の効果を生む住宅リフォーム助成制度の創設を求めて、以前、ふるさと交流村に関連をして支援策を述べました。

宅内水洗化工事促進の上でも、町内の安全を確保するさまざまな施策推進の上でも、家庭の要望に応える施策として、少ない財源で大きな、8倍、10倍の経済効果を生む実績が持たれています。

長浜市、彦根市、そして守山など、また全国で(いくつも)実施されています。実施策の検討を求めたい。見解を。

答

住宅リフォームへの補助制度で景気の回復、景気対策、また水洗化の促進をとのご提案です。

リフォームを行うきっかけとして、耐震、バリアフリー、いろいろなケースがあると思います。現在、甲良町内では水洗化を図るケースが最も多いと考えています。

しかし、そのような工事についても、甲良町内の水洗化の現状として、町全体での水洗化率が、全件数に対して、50%を少し超えた状況です。現

在も各集落で水洗化工事が進行されている最中です。

町の財政的なこともありますが、これからの家計支援と整備済み箇所との間の不均衡になることから、問題があり、即急な対応はちよつと難しいと考えています。

西澤

結局、しない言い訳を聞かせてもらったと思います。私は、(町の)予算と人員の体

制がふるさと交流村に傾倒していると思います。しかも本当に準備が整った上で施設建設が進むのかといえ、往生しているというのが現状ではないか。ですから、切実な今のくらしと営業を応援するという課題に応えるよう、ぜひとも進めていただくことを、再度要請しておきたいと思っています。

町民のくらし・経営難に

心寄せず

西澤の談話

国民の賃金が連続して下降し、「短観」が過去最悪になるなど、あらゆる指標が国民生活の苦境と景気悪化を示す中、町は町民の苦境に心寄せず、検討すらしていないことが明らかになりました。

質問では「一石二鳥」と表現しましたが、家計応援、地元建設業者応援、内需拡大の「一石三鳥」の効果と言えます。実現できるよう引き続きがんばります。



何でも相談

4月13日(月)17時~20時まで
受付電話番号：38-4949 (西澤)

過去には、雇用問題、生活保護、税金の申告、医療ミスによる補償問題、ふるさと交流村についての情報、農協とのトラブルなどが寄せられました。

お元気ですか

のぶあきです

日本共産党

西澤伸明町議会議員だより

2009年4月12日(日)号

Tel・Fax：38-4949

滋賀・甲良町在土463

全労連 労働相談

ホットライン相談無料

0120-378-060

あなたの身近な地域の労働組合につながります。

「大企業は内部留保を取り崩して雇用を守る社会的責任を果たせ」の声が大きくなっています。